

三重県財政の現状



平成25年10月28日

三 重 県

目次

1 三重県の概要	3 ページ	5 公営企業会計等の財務状況	32
○ 三重県の概要	4	○ 公営企業会計の財務状況	33
○ 優れた交通アクセス	5	○ 「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善	34
○ 競争力の高い製造業	6	○ 県立病院の状況	35
○ 三重ブランド	7	○ 地方三公社の財務状況	36
○ 三重の日本一	8	○ 第三セクターに対する損失補償	37
2 三重県観光キャンペーン	9	6 財政指標	38
○ 首都圏営業拠点「三重テラス」①	10	○ 主な財政指標の推移	39
○ 首都圏営業拠点「三重テラス」②	11	○ 実質公債費比率と将来負担比率(財政力指数補正)	40
○ 三重県観光キャンペーン	12	7 今後の県政運営	41
3 平成25年度一般会計予算	13	○ 行財政改革の取組～「自立した地域経営」の実現をめざして～	42
○ 平成25年度当初予算の概要	14	○ 三重県行財政改革取組	43
○ 一般会計歳入予算の構成割合(性質別)	15	○ 中期財政見通し	44
○ 一般会計歳出予算の構成割合(性質別)	16	○ 財政運営の改革	45
4 普通会計決算	17	8 起債運営	46
○ 普通会計決算(1)収支の状況	18	○ 起債運営の基本的な考え方	47
○ 普通会計決算(2)歳入決算の推移	19	○ 今年度の起債概要	48
○ 普通会計決算(3)県税収入の推移	20		
○ 県民1人当たり地方税と地方債残高	21		
○ 普通会計決算(4)歳出決算の推移	22		
○ 社会保障関係経費の推移	23		
○ 県債発行額の推移	24		
○ 公債費・県債残高の推移	25		
○ 人件費及び職員数の推移	26		
○ 普通建設事業費の推移	27		
○ 基金残高の推移	28		
○ 債務負担行為の推移	29		
○ バランスシート(普通会計)	30		
○ 行政コスト計算書(普通会計)	31		

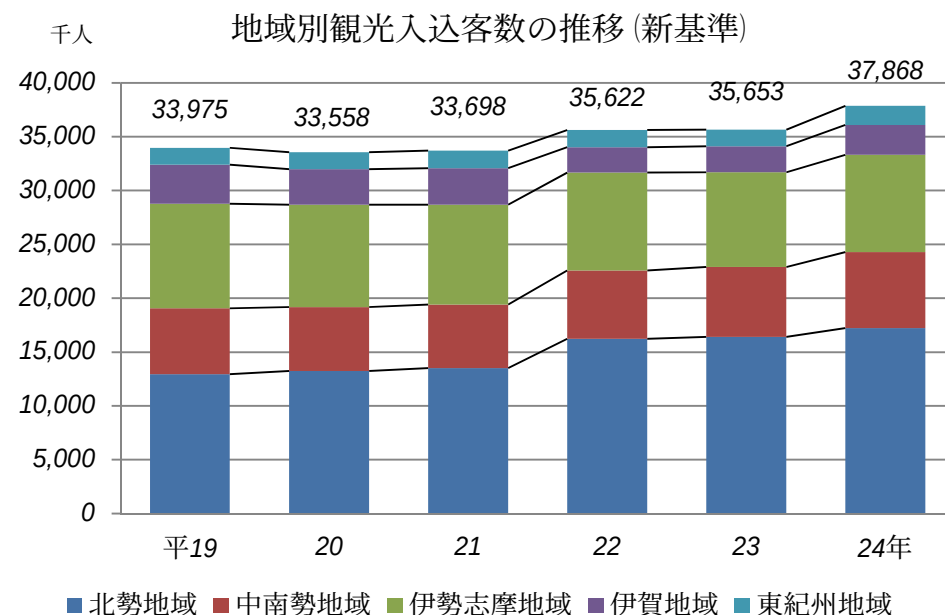
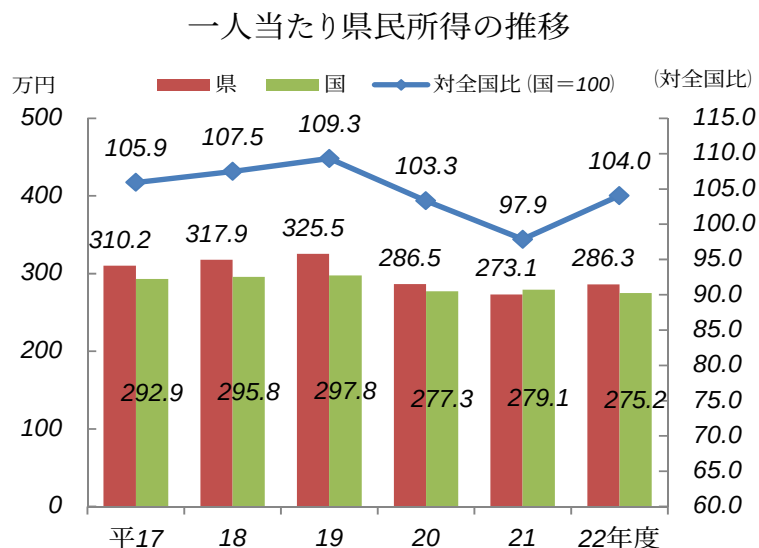
1. 三重県の概要



三重県の概要

- ・日本の中央に位置する三重県は、南北に細長く、山地・平野・海岸地域と変化に富んだ地形と美しい自然に恵まれています。
- ・古くから開けた三重県は、伊勢神宮をはじめ、世界遺産熊野古道など、数々の文化的資産を有するほか、伊勢志摩国立公園やF1グランプリが開催される鈴鹿サーキット、また大規模遊園地・テーマパークなどの観光資源も充実しており、近年、観光入込客数が増加しています。

項 目	データ	全国順位	参 考
人 口	185万人	22位 (H22年度)	人口増減率:全国第18位 (22年度 国勢調査)
面 積	5,777km²	25位 (H23年度)	自然公園面積割合:全国第3位 (H22年度)
人口一人当たり県民所得	2,863千円	9位 (H22年度)	H21年度 は全国 11位 (2,731千円)
観光入込客数	37,868千人	H24年度数値	H17年度(統計開始)以降過去最高



優れた交通アクセス

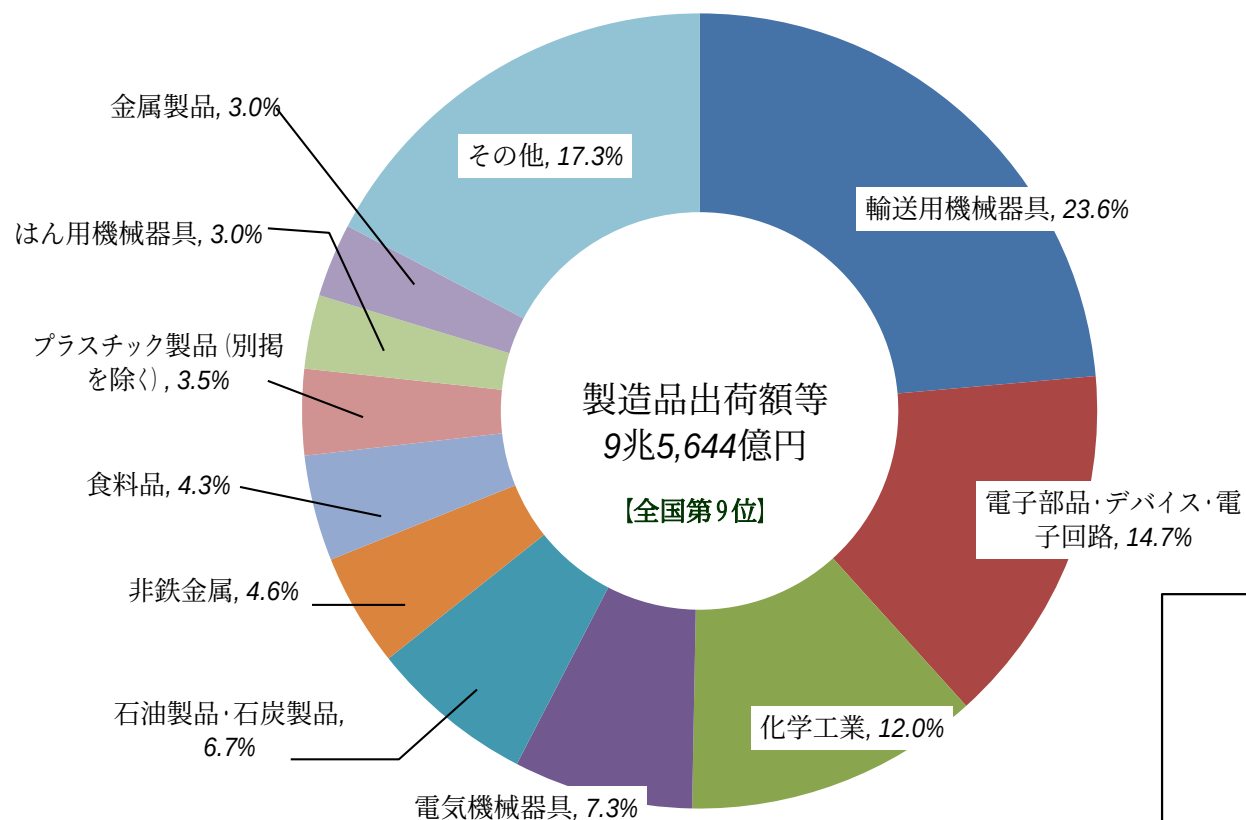
日本のほぼ中央に位置する三重県は、中部圏と近畿圏の両方に属し、鉄道のほか、東名阪自動車道や第二名神高速道路、幹線国道が充実し、二大都市圏へのアクセスが便利です。また、中部国際空港へのアクセス、港湾施設など、海外からのアクセスも充実しています。



競争力の高い製造業

三重県は、国内でも有数の石油化学コンビナートを有するとともに、自動車、造船などの輸送機械製造業や半導体、液晶などの先端産業が発達しています。また、近年は輸送用機械や電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額が大きな割合を占めています。

製造品出荷額等（平成23年）



従業員1人当たり
製造品出荷額等
5,134万円
【全国第6位】
(平成22年度)

三重ブランド

豊かな自然に囲まれた三重県は、海の幸・山の幸に恵まれています。
三重県では高い商品力を有する県産品、生産・製造を行う事業者を「三重ブランド」に認定しています。



三重の日本一

温暖な気候とともに1,000kmを超える海岸線と県土の65%を占める森林、伊勢平野から生まれた多様な農林水産物、各種の地場産業、高付加価値の半導体液晶などの先端産業など多彩な分野において日本をリードしています。

工業製品出荷金額（従業者4人以上の事業所）

品目名	三重県値 (単位:百万円)	全国値 (単位:百万円)	全国シェア (%)
天然・養殖真珠装身具（購入真珠によるもの）	6,399	11,308	56.6
炭素・黒鉛質ブラシ	12,633	22,386	56.4
接続器	66,472	124,954	53.2
錠、かぎ	27,507	56,616	48.6
液晶パネル	824,762	1,833,705	45.0
リレー	22,542	58,004	38.9
陶磁器製台所・調理用品	1,526	3,824	39.9
ゴム管	3,932	12,417	31.7
火災報知器	15,158	53,828	28.2
ゴムホース	38,252	140,407	27.2
自動販売機	27,636	105,891	26.1

農産物

品目名	三重県値	全国値	全国シェア	年次
ホンシメジ生産量	143.6トン	171.0トン	84	H23
おおい茶生産量	1,390トン	5,840トン	23.8	H22
日本一高い肥育牛「松阪牛」	5,000万円／頭（過去最高額）（H14） 2,010万円／頭（H23）			

水産物

項目	三重県値	全国値	全国シェア (%)	年次
伊勢えび	213トン	1,193トン	19	H23

その他

項目	三重県値	全国値	全国シェア (%)	年次
海女の人数	978人	2,174人	45	H23
FSC森林認証国内取得件数	7件	35件	—	H24.3
製材工場数（製材用動力7.5キロワット以上）	283工場	5,927工場	—	H24.12
ケーブルテレビインターネット世帯普及率	25.4	11	—	H23.12末
BOD値による河川平均水質ランキング 1位「宮川」	0.5	—	—	H22

2. 三重県観光キャンペーン



—— 三重県観光キャンペーン ——

2013.4～2016.3

首都圏営業拠点「三重テラス」①



9月28日(土)
東京日本橋にOPEN!



MIE TERRACE



東京都中央区日本橋室町2丁目4-1
浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」
1F・2F

<http://www.mieterrace.jp/>

営業時間

物販 10:00 - 20:00

レストラン 11:00 - 23:00

(L.O. 食事 22:00・ドリンク 22:30)

定休日 不定休(施設に準ずる)



お伊勢参り 出発の地、日本橋



伊勢商人の店が軒を連ね、
今なお老舗企業として活躍している、日本橋



首都圏営業拠点「三重テラス」②

「食」や「観光」、「歴史」、「文化」、
「産業」など三重の魅力の情報発信

買う(ショップ)

三重の選りすぐりの商品を、地域ならではの 物語
という付加価値をつけて販売

食べる(レストラン)

三重の産直食材や地域の「旬」の食材にこだわっ
たメニューの提供

体験する(イベント)

観光PR、三重の伝統・文化・歴史等に関するセミ
ナーや講座、伝統産業や地場産業を紹介する展
示会、生産者と事業者との商談会などの開催

三重ゆかりの店舗や企業等との連携

三重の物産や飲食を提供していただける三重ゆ
かりの店舗(応援店舗)や、三重にゆかりのある
企業(応援企業)とのネットワークを構築・拡大し、
首都圏において戦略的かつ多面的な情報発信に
取り組みます。

1 F

- プライベートブランド商品の開発
- 三重の各地域を旅するかの如く、
地域の旬の味を提供
- テストマーケティングなど消費者
目線の評価を事業者へフィードバック
など



9/28オープニングセレモニー



1F ショップ



1F レストラン

2 F

☆企業トップと知事の懇談会の開催

- テーマ性のある講座や参加型
イベントの開催
- オフィスワーカー等を対象にした
「朝大学」の手法による講座の開催
- 首都圏のバイヤーやクリエイター等
との商談会など、BtoBでの活用
など



2F 多目的ホール

さまざまな人々との交流や感動との出会い、新しいアイデアの創出などにつながる営業
活動を総合的に進め、県内への観光誘客や県産品の販路拡大につなげていきます。

三重県観光キャンペーンの取組状況

みえ旅パスポート 発給数: 県内 80,137件 (10月13日現在)

三重県初の周遊パスポートを「みえ旅案内所」で発給

1 クーポン機能

県内の「みえ旅おもてなし施設」で「みえ旅パスポート」を提示すると、割引やプレゼント等のおもてなしサービスが受けられます！

2 スタンプラリー機能

県内の観光を楽しみながら、「みえ旅案内所」に立ち寄ってスタンプを集めると、特産品等が当たる抽選に応募できます！

3 ステージアップ機能

必要なスタンプ数を集めると3段階でステージアップ。ステージアップするごとに宿泊券やスペシャルな旅など、プレゼントの内容がグレードアップします！



ロゴマーク



みえ旅パスポート

みえ旅案内所 県内84施設 (10月10日現在)

県内の観光案内所、道の駅などが「みえ旅案内所」となり、来訪者の皆様をサポート

- ①「みえ旅パスポート」の発給・押印
- ②地域の旬の情報を提供
- ③オフィシャルガイドブック、エリアパンフレット等の提供



みえ旅おもてなし施設 県内785施設 (10月11日現在)

「みえ旅パスポート」を提示すると、三重県内各地の観光施設、飲食施設及び宿泊施設などのキャンペーン協力施設で、各種割引やプレゼント進呈等といったおもてなしサービスを提供



3. 平成25年度一般会計予算



伊賀上野城

藤堂高虎により築城され、現在は当時の内堀と石垣、昭和10年に建てられた天守閣が残っています。(伊賀市)

平成25年度当初予算の概要

- ・「みえ県民力ビジョン・行動計画」の2年目として、行動計画に掲げた目標の実現に向けた取り組みを着実に推進することを基本方針として編成しました。
- ・将来世代に負担を先送りしない、持続可能な財政運営を確立するため、可能な限り県債発行を抑制するとともに、総人件費の抑制を図るなど、財政健全化への取り組みを進めます。
- ・厳しい財政状況の中、限られた財源を柔軟に無駄なく配分するため、新たな予算編成プロセスのもと、優先度判断による事業の選択と集中を図り、次の諸課題などに的確に対応していきます。

I 三重県のブランド力アップ ～三重の魅力を大きく発信～

神宮式年遷宮の好機を生かし、皆さんに三重の魅力を知っていただくため、「三重県観光キャンペーン～実はその、ぜんぶ三重なんです！～」を実施し、全庁を挙げて本県の観光PRに取り組みます。

三重県観光キャンペーン事業費 5億2,792万円

(主な事業)

- ・三重県観光キャンペーン推進協議会負担金 2億120万円
- ・平成おかげ参りプロジェクト 1,062万9千円
- ・首都圏営業拠点推進事業費 2億4,117万5千円
- ・熊野古道世界遺産登録10周年事業費 1,600万円

II 地域を守る ～防災・減災対策の推進～

県民の皆さんの安全・安心を確保するため、国の緊急経済対策も活用し、自然災害への緊急的な対応として、海岸堤防施設等の緊急的な整備、補修・補強、点検等を行います。

- ・海岸保全施設緊急地震・津波対策事業費 20億2,555万円
- ・河川堆積土砂対策事業費 7億円
- ・県営漁港施設機能強化事業費 8億6,410万円
- ・緊急復旧治山事業費 4億3,911万円

III 子どもを守る ～児童虐待やいじめへの対応～

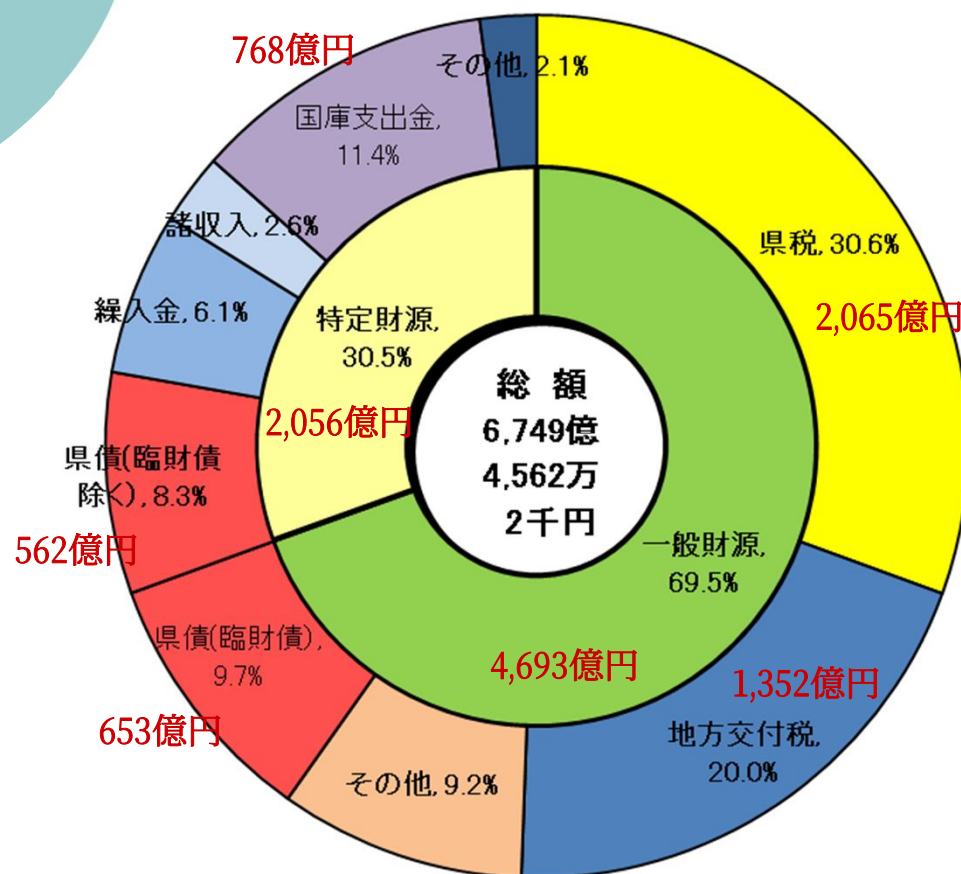
児童虐待への法的対応や介入型支援を的確に行うため、弁護士等専門人材の活用を図ります。いじめへの早急な対応を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを拡充します。

- ・児童虐待法的対応推進事業費 5,849万円
- ・市町児童相談体制支援推進事業費 7,600万3千円
- ・いじめを許さない「絆」プロジェクト事業費 3,849万8千円
- ・スクールカウンセラー等緊急活用事業費 6,169万5千円

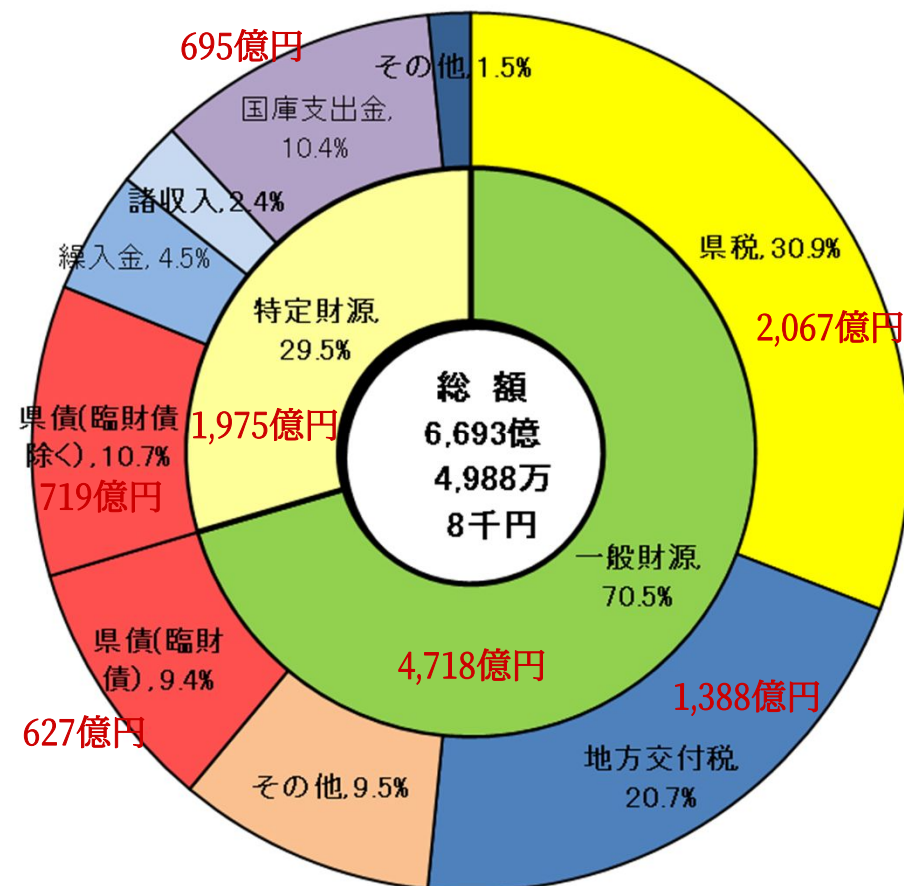
一般会計歳入予算の構成割合（性質別）

- ・平成25年度当初予算は、対前年度当初予算比0.8%増の6,749億円。
- ・県税収入は、法人事業税の減少などにより対前年度当初予算比0.1%減の2,065億円。
- ・県債は、可能な限り県債発行を抑制することにより、対前年度当初予算比9.7%減の1,215億円。

平成25年度当初予算



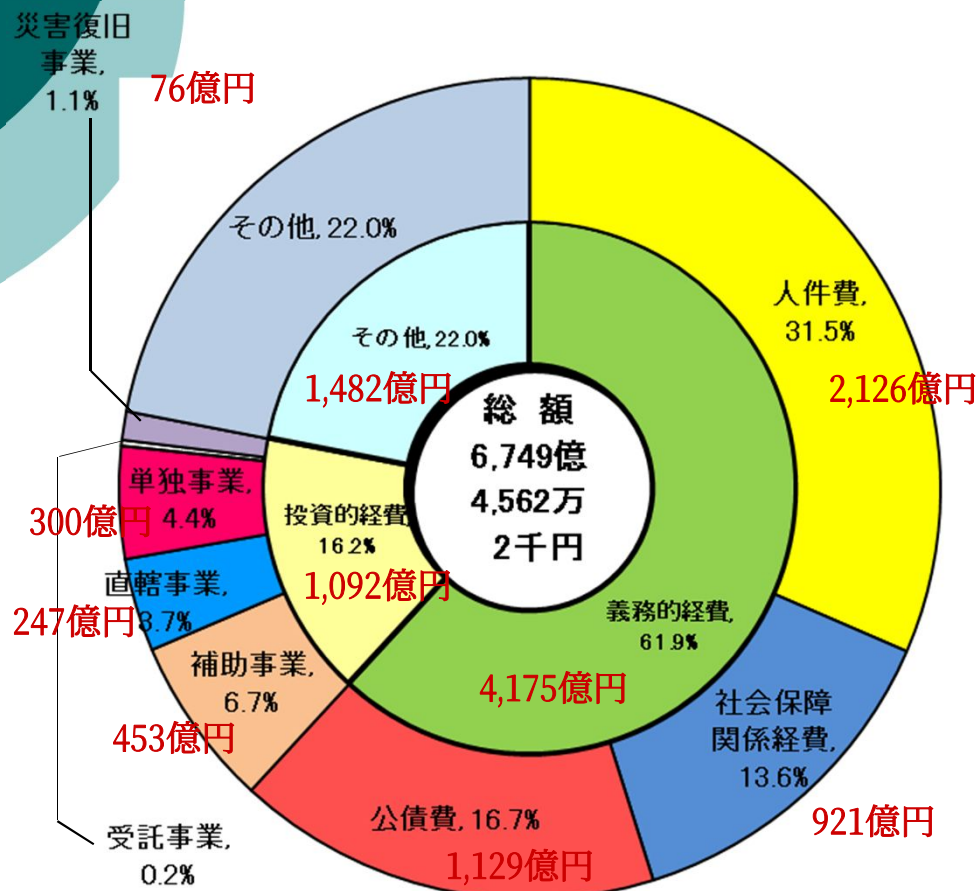
平成24年度当初予算



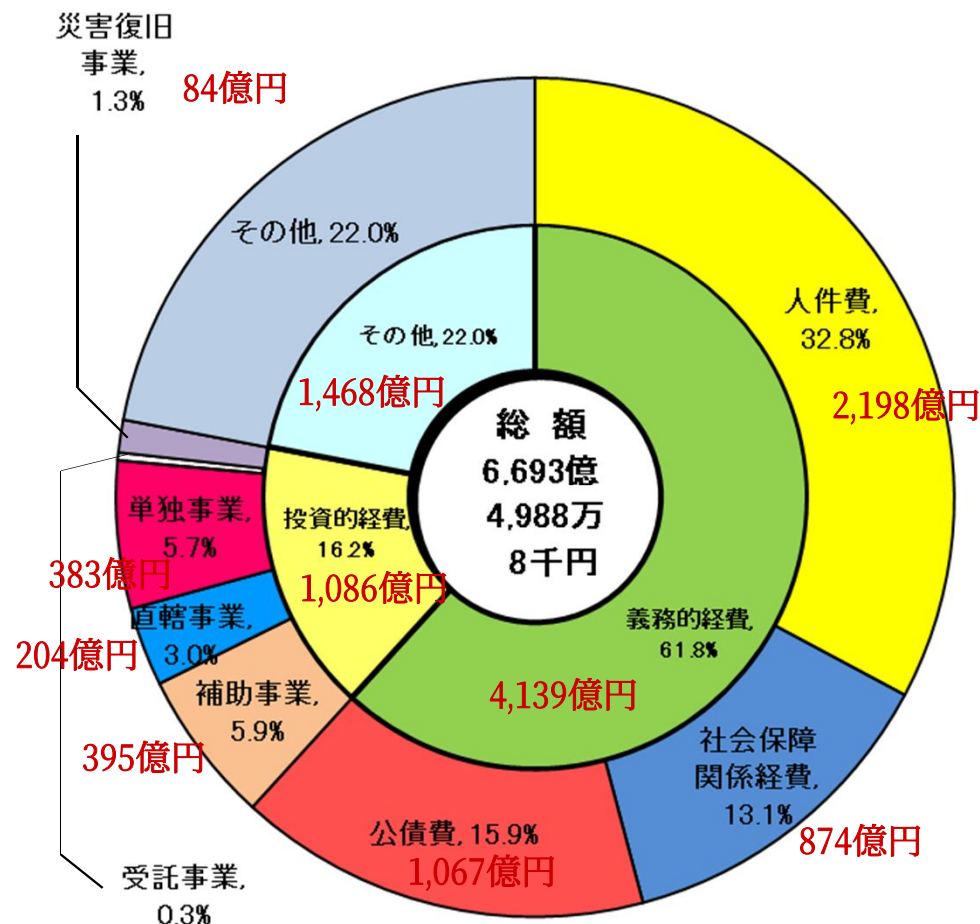
一般会計歳出予算の構成割合（性質別）

- ・義務的経費は、国からの給与費削減要請の対応により人件費が減少したものの、社会保障関係費・公債費の増加により対前年度当初予算比0.9%増の4,175億円。
- ・投資的経費は、国庫補助事業等の増により、対前年度当初予算比0.5%増の1,092億円。

平成25年度当初予算



平成24年度当初予算



4. 普通会計決算



御城番屋敷

江戸末期に旧紀州藩士が松阪城警護のため移り住んだ武家屋敷です。このような組屋敷は全国でも大変珍しく、今も人々の暮らしが営まれています。(松阪市)

普通会計決算

(1) 収支の状況

平成24年度の歳入決算は6,997億円、歳出総額は6,778億円となり、歳入歳出差引は219億円の黒字となった。

また、翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は60億円の黒字となった。

(単位:億円)

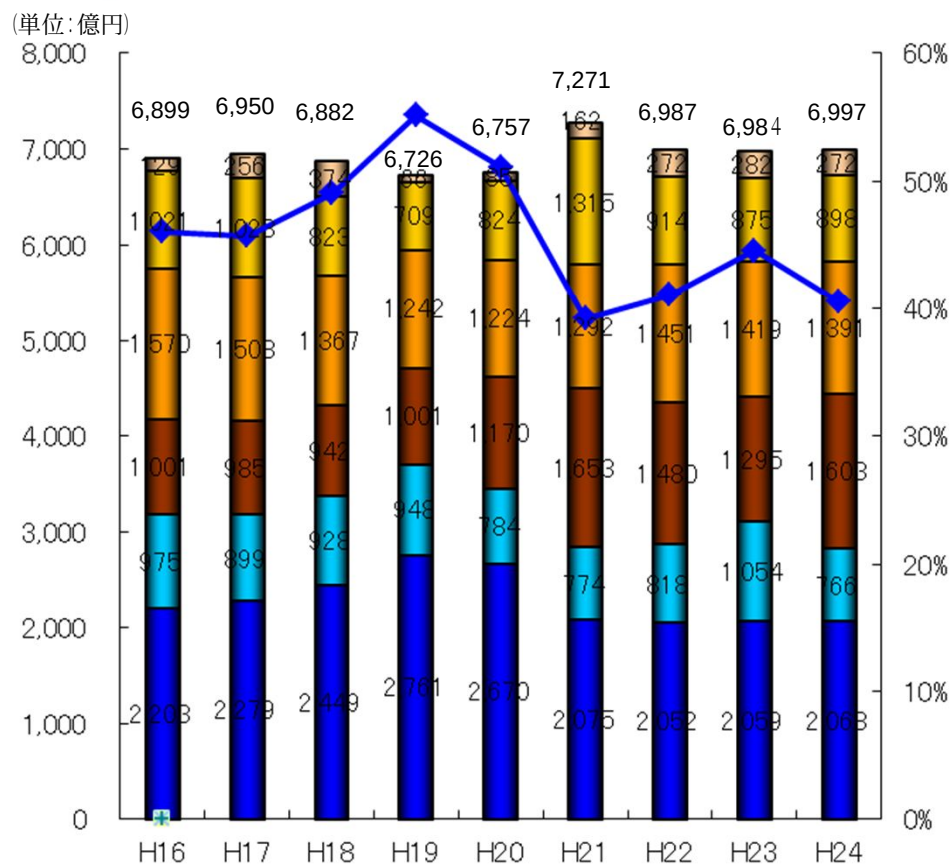
区分	23年度	24年度
歳入総額 a	6,984	6,997
歳出総額 b	6,776	6,778
歳入歳出差引額 $a-b=c$	208	219
翌年度に繰り越すべき財源 d	165	159
実質収支 $c-d=e$	43	60

普通会計決算

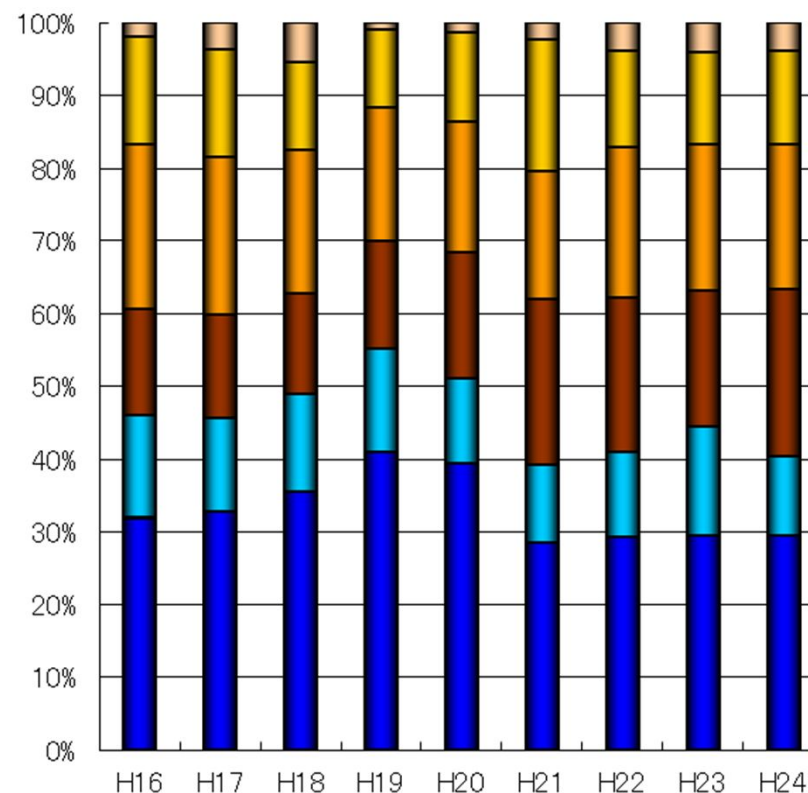
(2) 歳入決算の推移

平成24年度の歳入決算は6,997億円と前年度比13億円の増収となった。
 なお、平成24年度の自主財源比率は、財政調整基金等の繰入金の減額等により前年度比4.1%減の40.5%となった。

普通会計歳入決算の推移



歳入構造の変化



普通会計決算

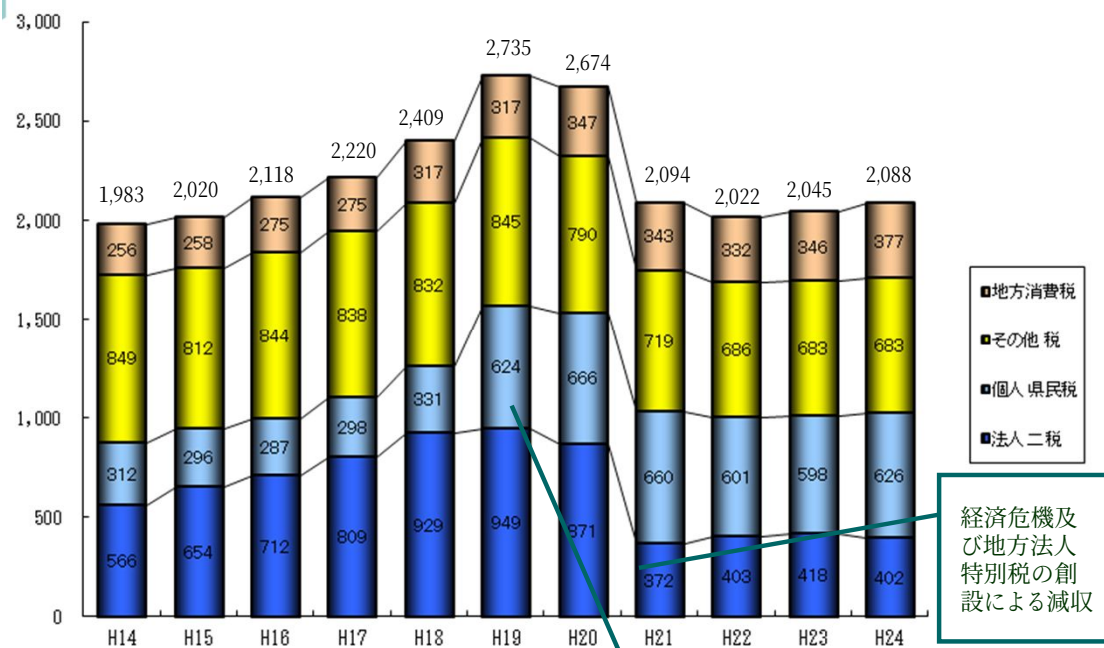
(3) 県税収入の推移

- ・平成24年度県税収入は、扶養控除見直し等により個人県民税が増収となり若干増加。
- ・法人関係税は、積極的な企業誘致の成果もあって平成14年度から平成19年度まで増加。平成21年度からは経済危機による景気悪化や地方法人特別税の創設等による影響で、大きく減少している。
- ・地方税徴収率は高い水準。(平成24年度97.0%)

県税収入の推移

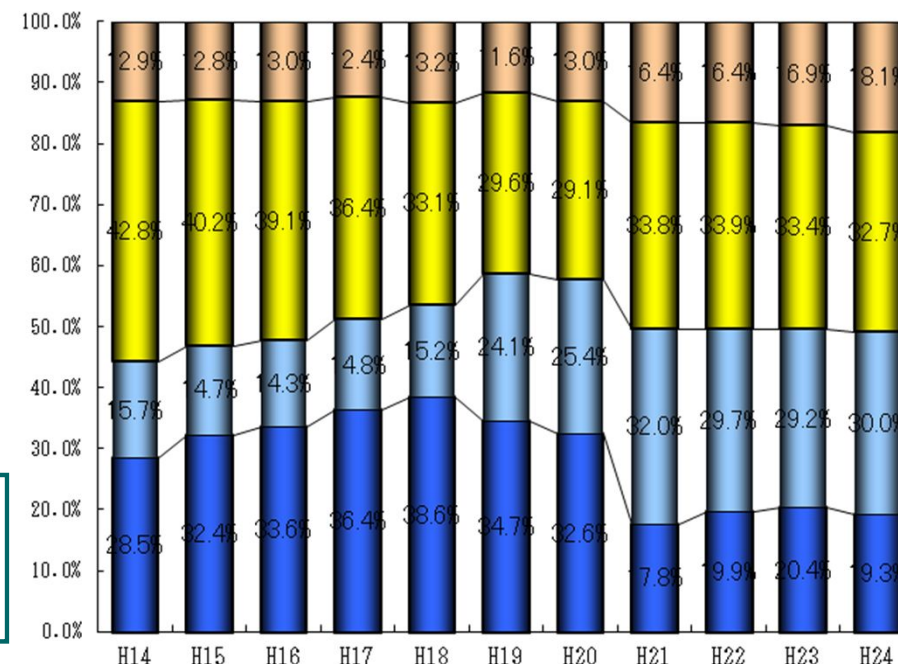
県税収入の構成比推移

(単位: 億円)



※都道府県精算金を含む。

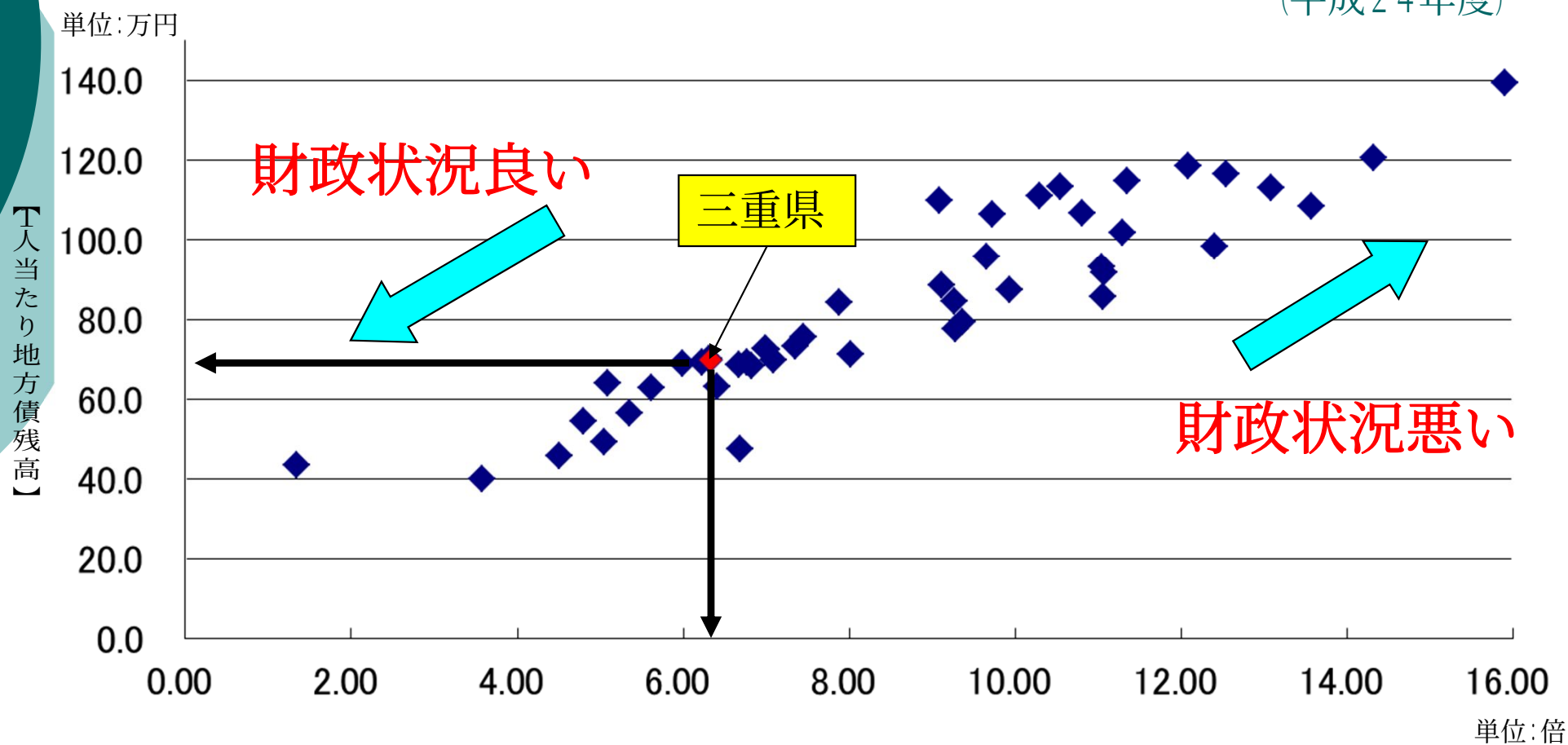
【税制改正】
所得税から個人県民税へ税源移譲



県民1人当たり地方税と地方債残高

- ・1人当たり地方債残高／1人当たり地方税 6.33倍 (全国第12位) 【前年度10位】
- ・1人当たり地方税 → 11.0万円 (全国第10位) 【前年度5位】
- ・1人当たり地方債残高 → 69.9万円 (全国第16位) 【前年度12位】

(平成24年度)



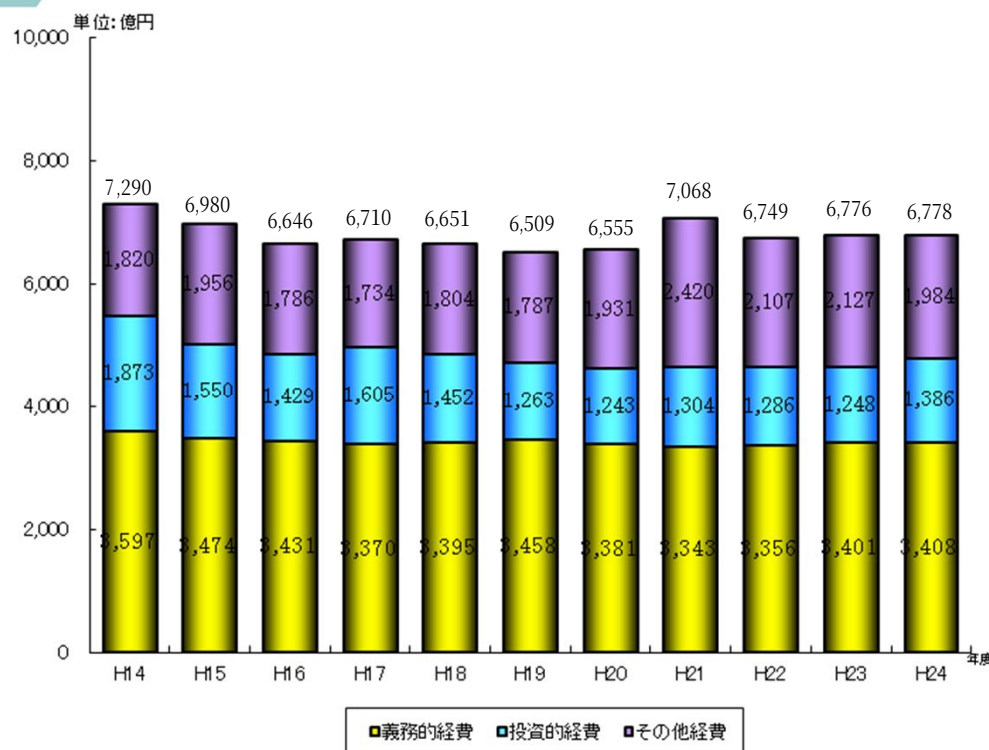
【1人当たり地方債残高／1人当たり地方税】

普通会計決算

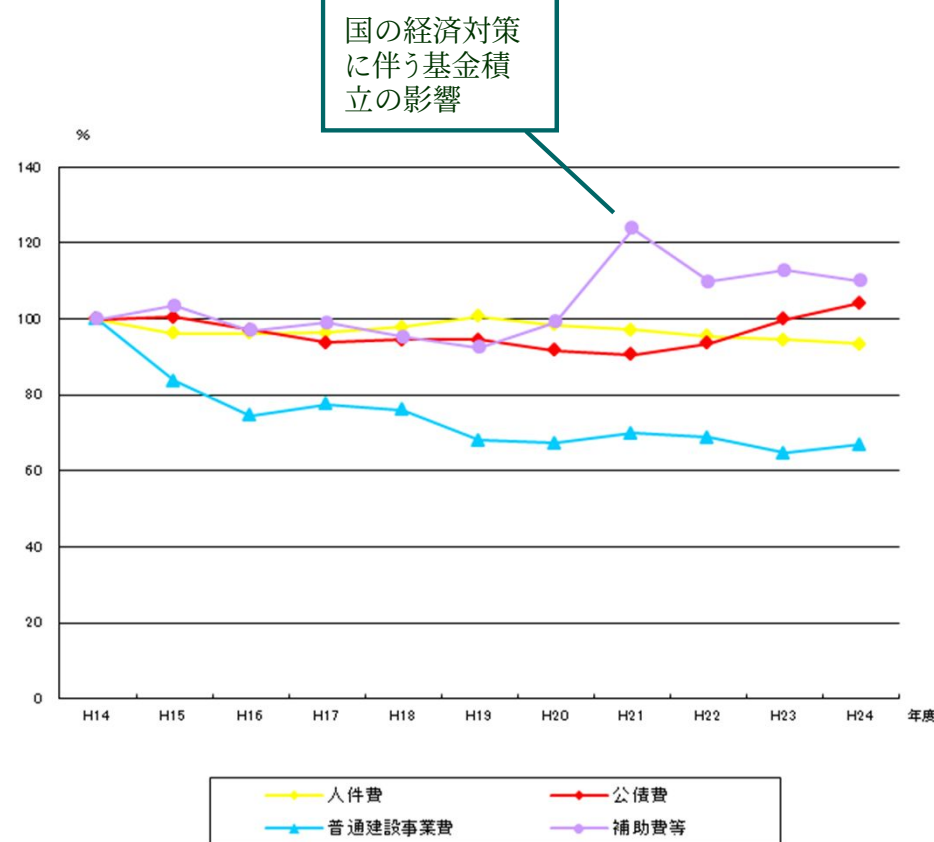
(4) 歳出決算の推移

- ・義務的経費は、社会保障関係経費と公債費が増加するも人件費の抑制により横ばい傾向にある(H24は対前年度比0.2%(7億円)増)。
- ・投資的経費は、公共事業の減少等により減少傾向にある(H24は国の緊急経済対策を活用し、対前年度比11.1%(138億円)増)。
- ・実質収支は、昭和47年度以降一貫して黒字。

性質別決算額の推移

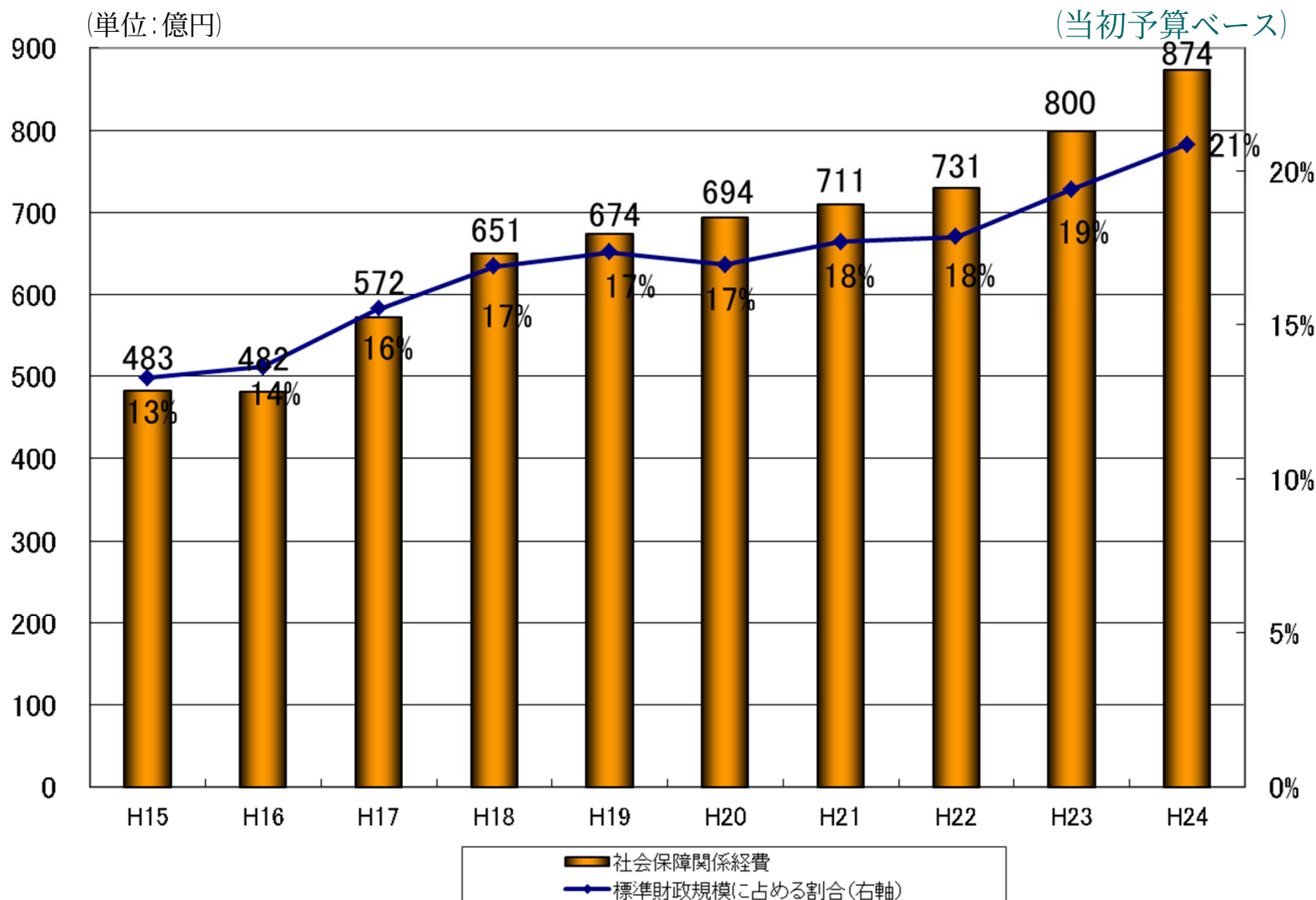


主な経費の推移 (H14を100にした場合)



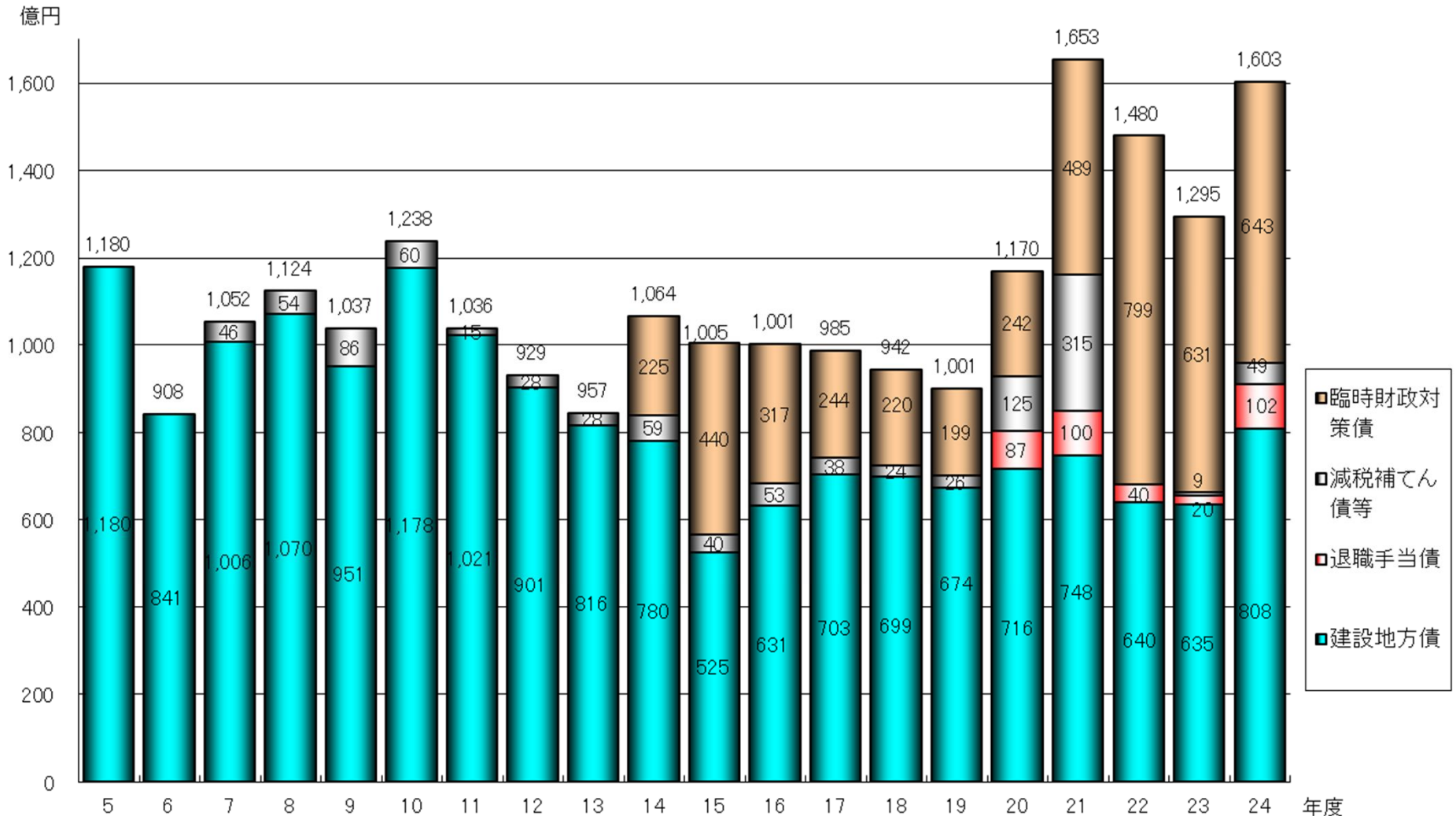
社会保障関係経費の推移

- ・高齢化率の上昇に伴い、年々増加（三重県の老年人口割合 24.3%【H23 全国第27位】）。
- ・国の制度改正等により大きな変動が想定されるが、今後とも増加傾向の見込み。



県債発行額の推移

- ・平成15年度以降は、臨時財政対策債や退職手当債といったいわゆる特例債の占める割合が高い。
- ・平成21年度以降は、県税収入の落ち込みに伴い、臨時財政対策債等の発行が大幅に増加している。

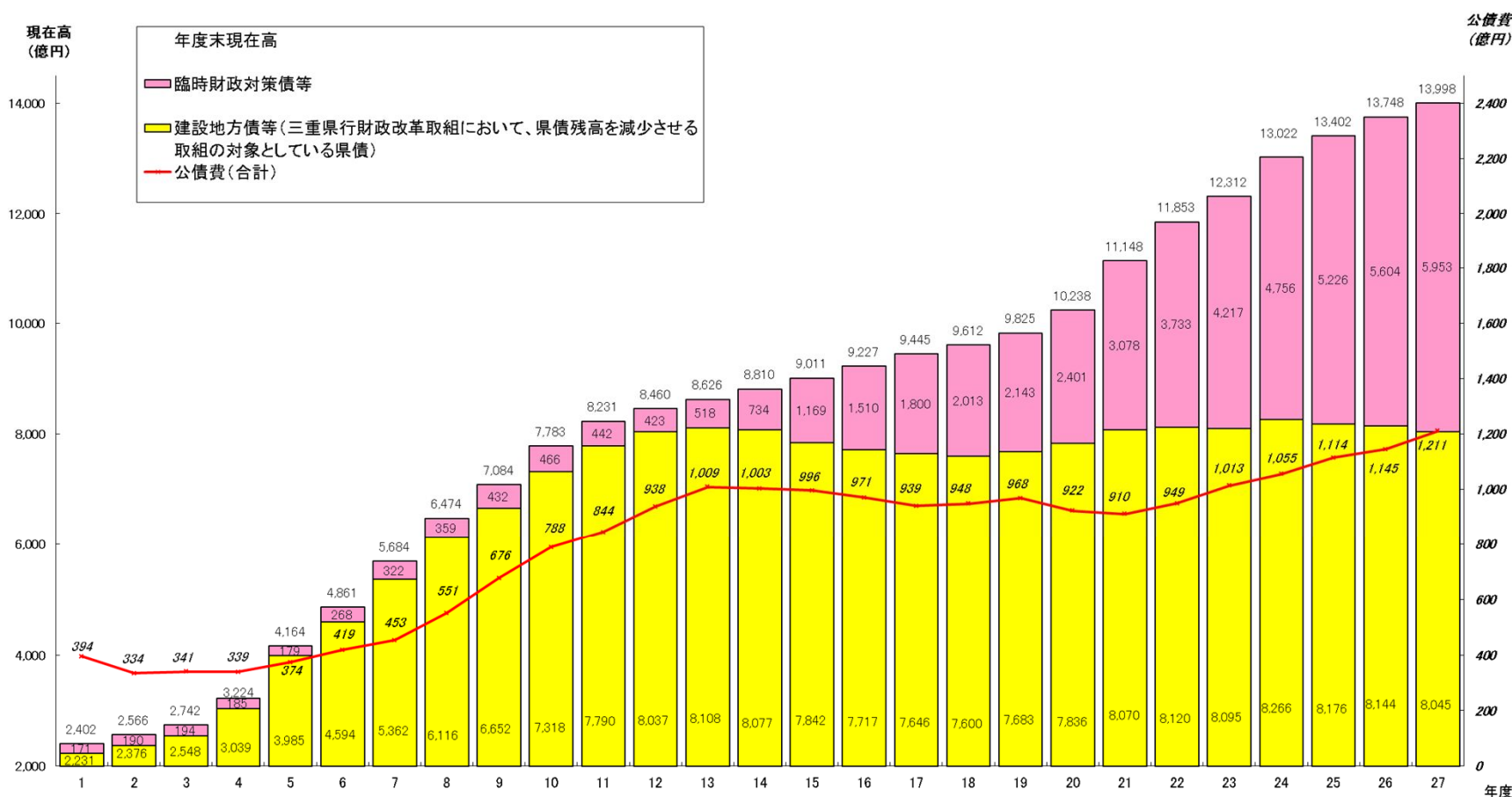


※減税補てん債等は、「減税補てん債」、「減収補てん債(特例分)」及び「臨時税収補てん債」をいう。

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

公債費・県債残高の推移

- ・公債費は、近年900億円を超える水準で推移したが、平成23年度以降は臨時財政対策債の発行増等による県債残高の増加に伴い、1,000億円を超えてさらに増加する見込み。
- ・県債残高は、平成20年度末に1兆円を超えたが、臨時財政対策債等を除いた建設地方債については、ほぼ横ばいで推移。

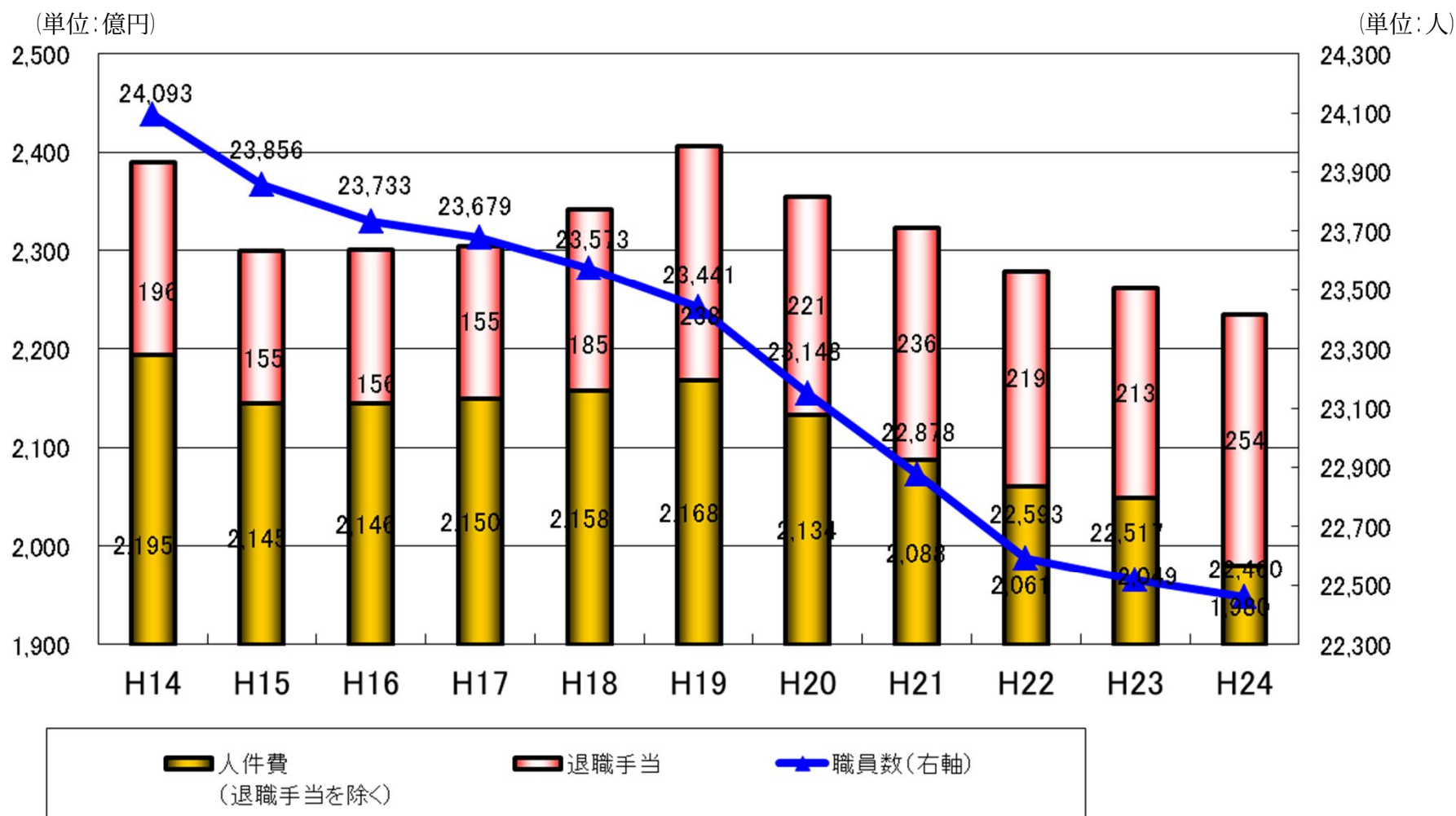


(注1) 県債発行額は、平成24年度までは決算額、平成25年度は9月補正後予算額、平成26年度以降は三重県行財政改革取組における中期財政見通しの数値としている。

(注2) 「臨時財政対策債等」とは、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「減収補てん債(特例分)」及び「臨時税収補てん債」をいう。

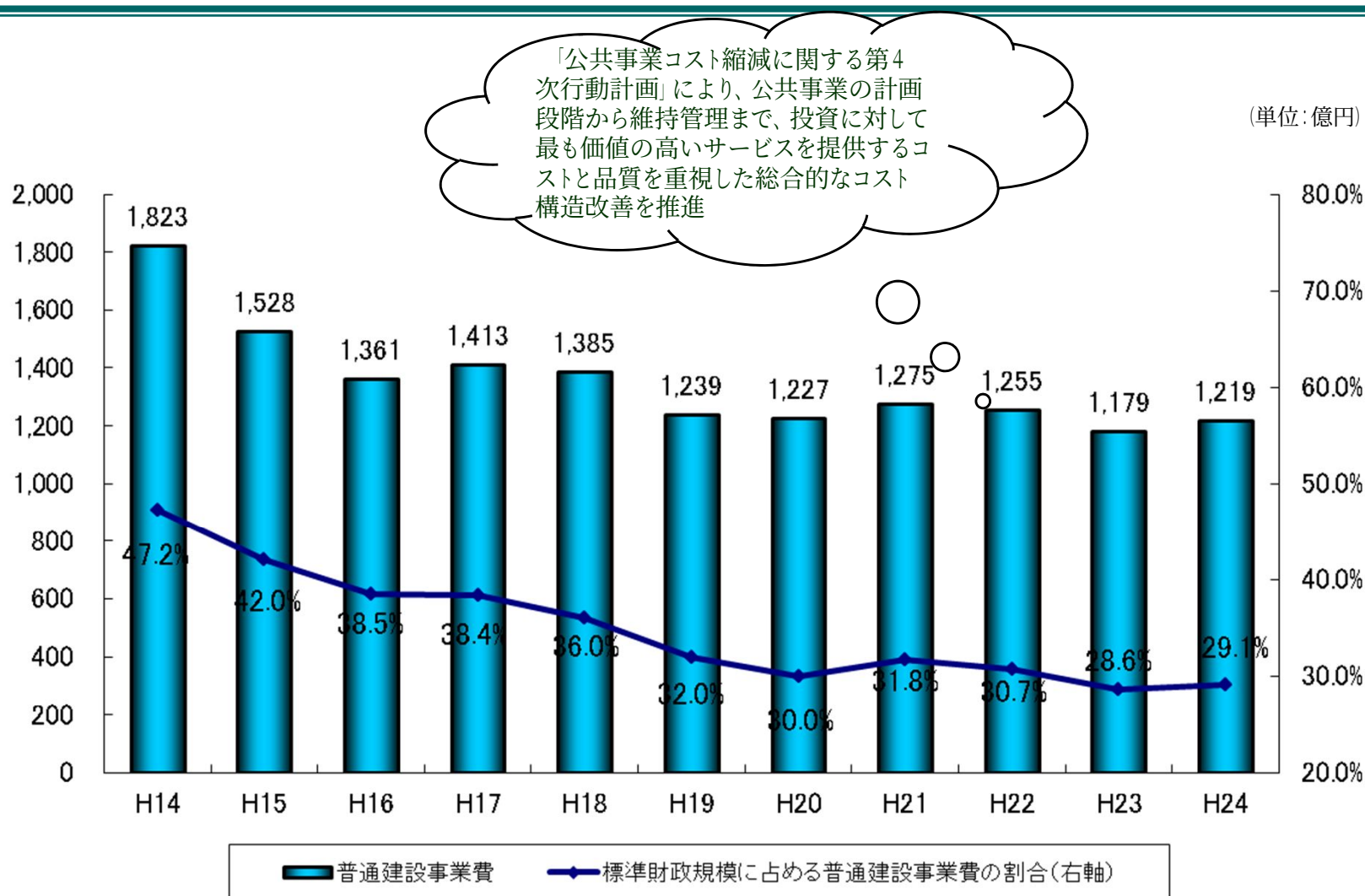
人件費及び職員数の推移

- ・職員数については、平成14年度からの10年間で約1,600人(6.8%)削減。
- ・人件費は退職手当を除いたベースでは減少傾向。
(退職手当については、平成20年代後半まで高水準で推移する見込み。)



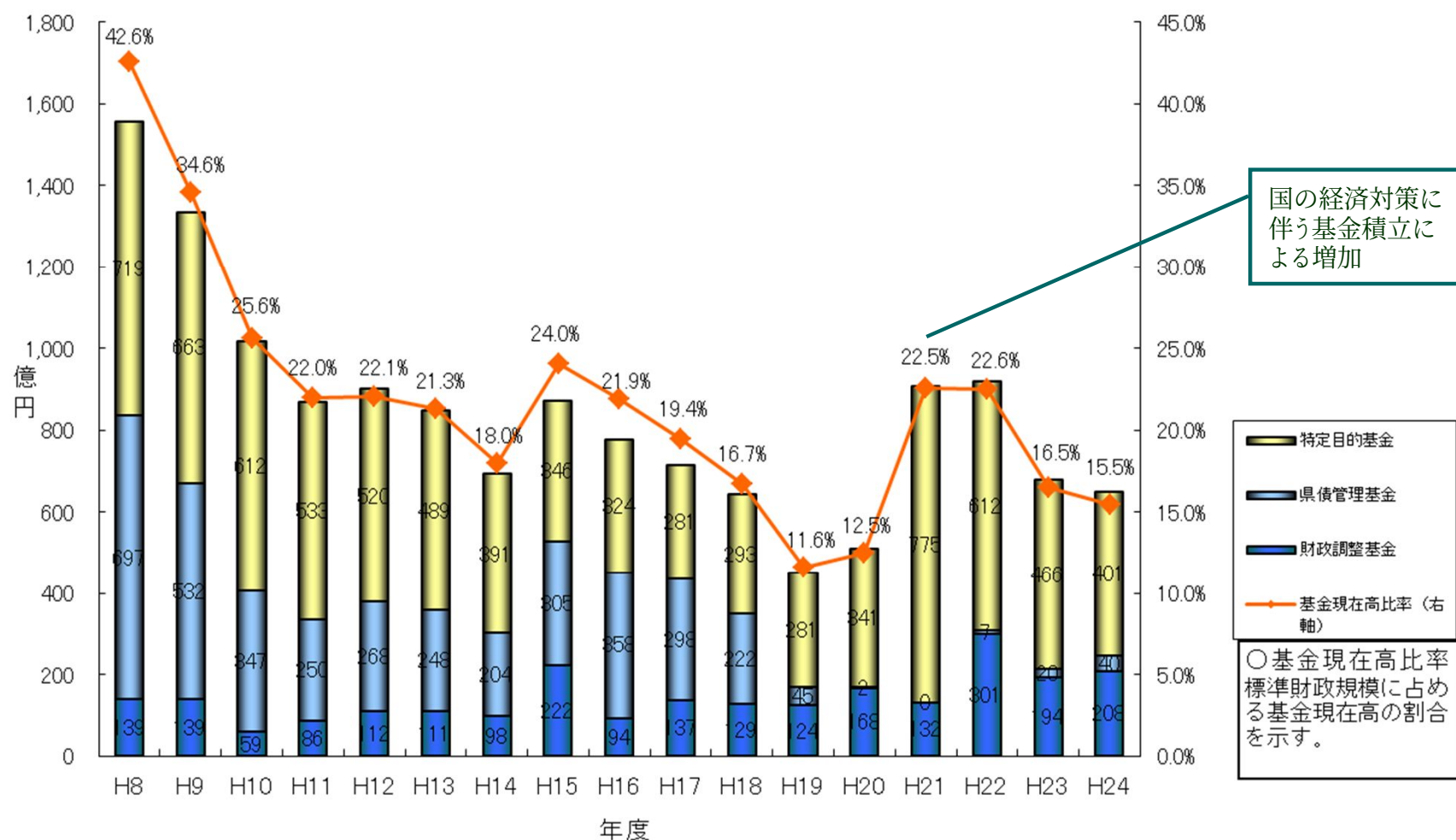
普通建設事業費の推移

- ・普通建設事業費は大幅に減少（H24は対H14比で33%減）している。
- ・標準財政規模に占める普通建設事業費の割合も、47.2%（H14）⇒29.1%（H24）まで減。



基金残高の推移

- ・基金残高は、減少傾向にあり、平成10年度以降は大幅に減少。
- ・平成24年度末残高は、対前年度比30億円の減少の649億円。
- ・県債管理基金には、市場公募債発行額の30分の1を発行年度から積み立てることとしており、積み立てた基金は、地方債にて長期運用し、調達コストを軽減。

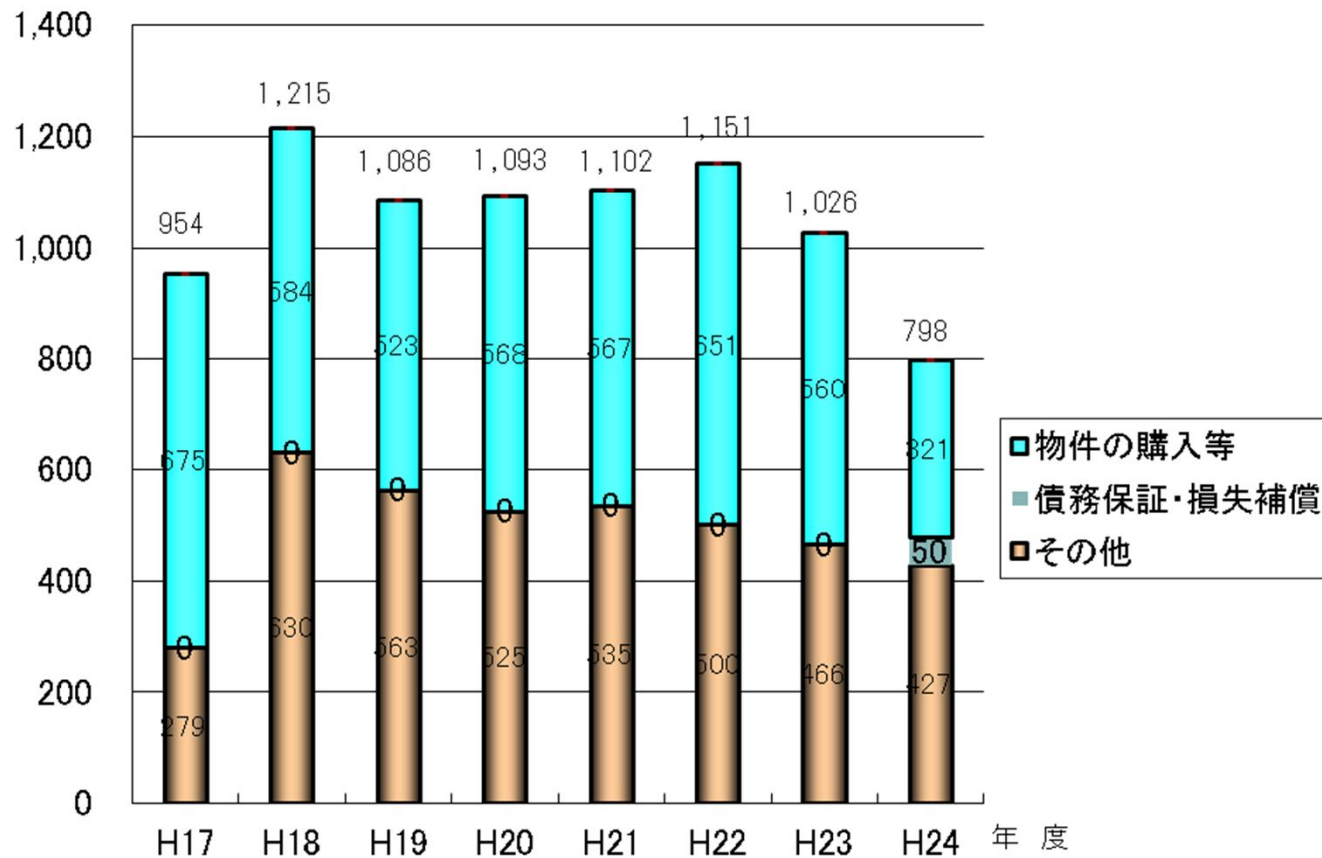


債務負担行為の推移

債務負担行為にかかる翌年度以降の支出予定額は、将来負担比率のうち7.8%と相対的に低い状況。

債務負担行為（翌年度以降の支出予定額）の推移

単位：億円



※平成18年度以降の「その他」には、国営土地改良事業負担金を含む。

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

バランスシート (普通会計)

平成20年度決算から総務省方式改訂モデルに基づき、普通会計の財務書類4表を作成・公表。

普通会計バランスシート

(単位: 百万円)

	平成23年度	平成24年度
公共資産	2,688,892	2,673,401
(内訳)		
有形固定資産	2,688,377	2,672,790
売却可能資産	514	611
投資等	235,526	224,882
(内訳)		
投資及び出資金	137,225	140,300
貸付金	33,673	32,313
基金等	54,924	42,589
長期延滞債権	10,693	10,529
回収不能見込額	△ 990	△ 850
流動資産	44,126	48,538
(内訳)		
現金預金	42,125	46,658
未収金	2,000	1,880
資産合計	2,968,543	2,946,820

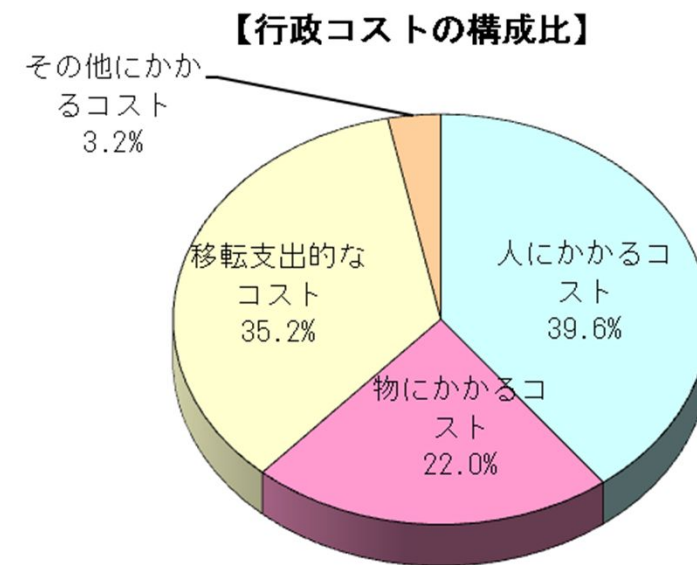
	平成23年度	平成24年度
固定負債	1,366,186	1,429,428
(内訳)		
地方債	1,152,163	1,217,598
長期未払金	6,434	7,254
退職手当引当金	207,495	204,458
損失補償引当金	94	117
流動負債	121,622	127,639
(内訳)		
翌年度償還予定地方債	87,176	94,963
短期借入金(翌年度繰上充用額)	-	-
未払金	-	-
翌年度支払予定退職手当	22,483	20,861
賞与引当金	11,962	11,815
負債合計	1,487,808	1,557,067
純資産合計	1,480,735	1,389,754
負債・純資産合計	2,968,543	2,946,820

行政コスト計算書 (普通会計)

- ・行政コスト計算書は、人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない行政サービスの経費を総合的に示すもの。
- ・行政コストは、5,563億円 (県民一人当たり297千円) であり、「人にかかるコスト」が39.6%と大きな割合を占めている。

県民一人当たり行政コスト

性 質 別	平成24年度末	構成比
1 人にかかるコスト	118千円	39.6%
2 物にかかるコスト	65千円	22.0%
3 移転支出的なコスト	105千円	35.2%
4 その他にかかるコスト	9千円	3.2%
行政コスト 合計	297千円	
1 使用料・手数料	3千円	
2 分担金・負担金・寄附金 (市町村からのものを除く)	0千円	
経常収益 合計	3千円	
(差引) 純行政コスト	294千円	
住 基 人 口 (H25.3.31)	1,871,619人	



5. 公営企業会計等の財務状況



二見夫婦岩の夕焼け

夫婦岩は古来より日の出遙拝所として知られてきました。沖合約700M先には猿田彦大神縁りの興玉神石(霊石)が鎮まり、夫婦岩はこの興玉神石と日の出を遙拝する鳥居とみなされています。(伊勢市)

公営企業会計の財務状況

- ・水道事業は、14.7億円の純利益を計上。
⇒平成23年度の純損失5.6億円は、志摩市水道の一元化に伴う特別損失20億円の影響による。
- ・工業用水道事業は、引き続き純利益を計上。
- ・電気事業は、1.6億円の純利益を計上（RDF焼却・発電事業は売電価格の上昇により0.1億円の黒字）。
⇒RDF焼却・発電事業は平成32年度まで県が事業主体となって継続することが決定。
- ・病院事業は、平成24年度から総合医療センターが地方独立行政法人に移行し、志摩病院が指定管理者を導入したことなどにより純損失が2.2億円まで減少。

(単位:百万円)

区 分		水道		工業用水道		電気		病院	
		平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
収 入 支 的	総 収 益	9,560	9,707	6,051	5,975	2,884	3,734	21,210	5,704
	総 費 用	10,116	8,236	5,286	4,918	3,309	3,576	24,157	5,921
	当年度純損益	△556	1,471	765	1,057	△ 425	158	△ 2,947	△ 216
貸 借 対 照 表	資産の部	167,950	166,583	134,615	134,376	17,284	17,218	34,008	13,402
	固定資産	153,314	151,414	120,602	121,272	14,423	14,360	26,203	11,560
	流動資産	14,637	15,169	14,013	13,104	2,861	2,858	7,136	1,494
	その他	-	-	-	-	-	-	668	348
	負債の部	7,376	7,448	8,612	7,406	792	1,050	10,123	6,681
	固定負債	6,567	6,680	7,628	6,747	408	568	6,476	6,289
	流動負債	809	769	984	658	383	482	3,647	393
	資本の部	160,574	159,135	126,003	126,970	16,492	16,167	23,885	6,721
	自己資本金	76,843	78,908	63,464	65,361	12,964	12,964	557	311
	借入資本金	40,520	35,628	20,568	19,366	3,015	2,532	22,298	10,795
	剰余金	43,211	44,598	41,971	42,243	514	672	1,030	△ 4,386
財政健全化法の資金不足比率		-	-	-	-	-	-	-	-

※本表の金額は消費税及び地方消費税を含まない。

※単位未満四捨五入のため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

長期経営ビジョンに基づき、水道・工業用水道事業における技術管理業務の包括的な民間委託、水力発電事業の民間譲渡などの取組を進めます。

平成25年度の取組状況

平成25年度当初予算額 1,339,866千円

「技術管理業務の包括的な民間委託」

予算額 266,260 千円

工業用水道の浄水場等（北勢水道事務所管内）における技術管理業務の包括的な民間委託について、受託者との緊密な連携のもと適切に指導・監督を行い、安全・安定供給の継続に努めます。

- ・ 統括運転管理及び浄水場等管理業務委託
266,260 千円

「水力発電事業の民間譲渡」

予算額 1,073,606 千円

水力発電事業の民間譲渡について、平成25年4月1日に譲渡した青蓮寺、比奈知の2発電所に引き続き、次年度以降譲渡する8発電所に係る必要な設備改修を行います。

- ・ 施設整備関係（修繕・改良）
324,357 千円
- ・ PCB含有主要変圧器取替等
251,565 千円 ほか

県立病院の状況

- 病院改革:平成24年4月1日付で、総合医療センターを地方独立行政法人へ移行し、志摩病院に指定管理者制度を導入しました。
- 志摩病院の経常収支の大幅な改善等により平成24年度病院事業決算は、2.2億円の純損失となりました。総合医療センターも経常収支の黒字化を達成しています。

県立こころの医療センター

- ・精神病床:400床
- ・平成24年度経常損益 +126百万円
- ・運営形態:公営企業法全部適用
- ・精神科拠点病院としての県の医療政策の確保
- ・外部評価委員会の設置による継続的な改善
- ・病院機能の再編の検討を進め、アウトリーチ体制及びデイケア・作業療法の充実により、地域生活支援体制の強化を図る。

地方独立行政法人三重県立総合医療センター

- ・一般:416床 (うち4床は感染症病床)
- 救命救急センター:30床
- 計:446床
- ・平成24年度経常損益 +45百万円
- ・平成24年4月1日に独立行政法人へ移行
- ・《改革の効果》①病院長の責任権限の明確化による自主的・自律的な経営②職員採用の柔軟化③外部評価委員会の設置による継続的な改善など

県立一志病院

- ・一般:46床、療養型病床群:40床 計86床
- ・平成24年度経常損益 △74百万円
- ・運営形態:公営企業法全部適用
- ・総合的な診療(家庭医療)を提供
- ・総合医(家庭医)育成拠点整備をし、県内の地域医療の確保に向けた人材育成や開発を進める。

県立志摩病院

- ・一般:250床 精神:100床 計:350床
- ・平成24年度経常損益 △150百万円
- ・平成24年4月1日に指定管理者制度を導入。
- ・《改革の効果》①医師確保を図ることで地域医療の充実する②民間の柔軟かつ効率的なノウハウを活用③事業者による柔軟かつ迅速な対応が可能

和歌山県

地方三公社の財務状況

地方三公社の財務状況は健全であり、将来負担比率における将来負担額はありません。
なお、住宅供給公社については、平成23年12月31日に解散し、現在清算手続き中です。

(単位: 百万円)

区 分			三重県土地開発公社		三重県道路公社		三重県住宅供給公社	
			平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
出 資	出資額合計		5.2	5.2	1,750.0	1,750.0	5.0	
	うち本県出資額		5.2	5.2	1,750.0	1,750.0	5.0	
損益計算書	経常損益	経常収益 ①	7,099	4,226	316	308	48	
		経常費用 ②	7,047	4,201	168	150	406	
		経常利益 ③＝①－②	52	25	148	158	△ 358	
	特別利益 ④		17	-	-	-	568	
	特別損失 ⑤		-	4	-	-	1	
	特別法上の引当金繰入額 ⑥		-	-	148	158	-	
	当期利益 ⑦＝③＋④－⑤		69	21	-	-	209	
貸借対照表	資 産	流動資産	11,875	11,115	19	28	2,107	
		固定資産	51	43	5,948	6,059	43	
		投資その他資産	6,646	6,347	735	437	1,503	
		資産合計	18,571	17,505	6,703	6,524	3,652	
	負 債	流動負債	4,877	4,523	629	285	33	
		固定負債	7,826	7,092	405	412	350	
		特別法上の引当金	-	-	2,919	3,077	-	
		負債合計	12,703	11,616	3,953	3,774	383	
	資 本	資本金	5.2	5.2	1,750.0	1,750.0	5.0	
		剰余金・準備金	5,863	5,884	1,000	1,000	3,264	
資本合計		5,868	5,890	2,750	2,750	3,269		
債務保証額(期末残高)			5,286	4,699	374	380	-	
損失補償契約に係る債務残高(期末残高)			-	-	-	-	-	
将来負担比率算定に係る将来負担額			-	-	-	-	-	

※数値は、四捨五入によるため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

第三セクターに対する損失補償

損失補償契約に係る債務残高のある第三セクターの将来負担比率寄与度は、極めて小さい状況です。

(単位: 百万円)

区 分		公益財団法人 三重県農林水産支援センター		公益財団法人 三重県産業支援センター	
		平成23年度	平成24年度	平成23年度	平成24年度
出資	県出資額	2,231	2,191	647	647
	出資割合	83.2%	83.0%	49.1%	49.1%
正味財産増減計算書	経常収益 ①	457	489	1,858	1,141
	経常費用 ②	458	540	1,502	875
	当期経常増減額 ③=①-②	△ 1	△ 51	356	266
	当期経常外増減額 (経常外収益-経常外費用) ④	△ 1	△ 0	△ 3,009	34
	当期一般正味財産増減額 ⑤=③+④	△ 2	△ 51	△ 2,653	300
	当期指定正味財産増減額 ⑥	△ 20	△ 340	△ 607	△ 64
	当期正味財産増減額合計 ⑦=⑤+⑥	△ 21	△ 391	△ 3,261	235
貸借対照表	資産	3,248	3,163	14,633	13,749
	負債合計 ⑧	606	912	10,532	9,413
	指定正味財産 ⑨	2,681	2,342	2,746	2,682
	一般正味財産 ⑩	△ 40	△ 91	1,355	1,654
	正味財産 ⑪=⑨+⑩	2,642	2,251	4,101	4,336
	負債・正味財産合計 ⑫=⑧+⑪	3,248	3,163	14,633	13,749
債務保証額 (期末残高)		-	-	-	-
損失補償契約に係る債務残高 (期末残高)		29	17	1,171	1,003
将来負担比率算定に係る将来負担額		20	12	25	92
将来負担比率寄与度		0.006%	0.003%	0.007%	0.026%
主な業務		(主な業務) ・農地の買入・売渡、借入・貸付、集落営農組織経営力強化などの農地保有合理化事業等 ・農林水産業への新規就業・就職のための研修、相談及び労働環境改善への支援等 ・県産農林水産物の安心食材表示制度の認定、食育・地産地消の啓発、6次産業化の促進支援等 ・県有農業基盤施設の保守・管理		(主な業務) ・県内中小企業の基盤技術の高度化を支援 ・地域課題の解決や地域資源を活用した新事業創出や農商工連携等への支援 ・一時的に経営悪化しているが再生の実現可能性が高い県内中小企業の再生支援 ・特許等取得活用支援、メッセウイングみえの建設費償還、希少金属代替材料開発プロジェクト等	

※単位未満四捨五入のため、個々の額と合計額が一致しないことがある。

6. 財政指標



英虞湾の夕焼け

志摩半島で一番大きな入海。リアス式海岸の特徴をもち、賢島をはじめ無数に浮かぶ大小さまざまな島影が印象深く、真珠の養殖で有名です。
(志摩市)

主な財政指標の推移

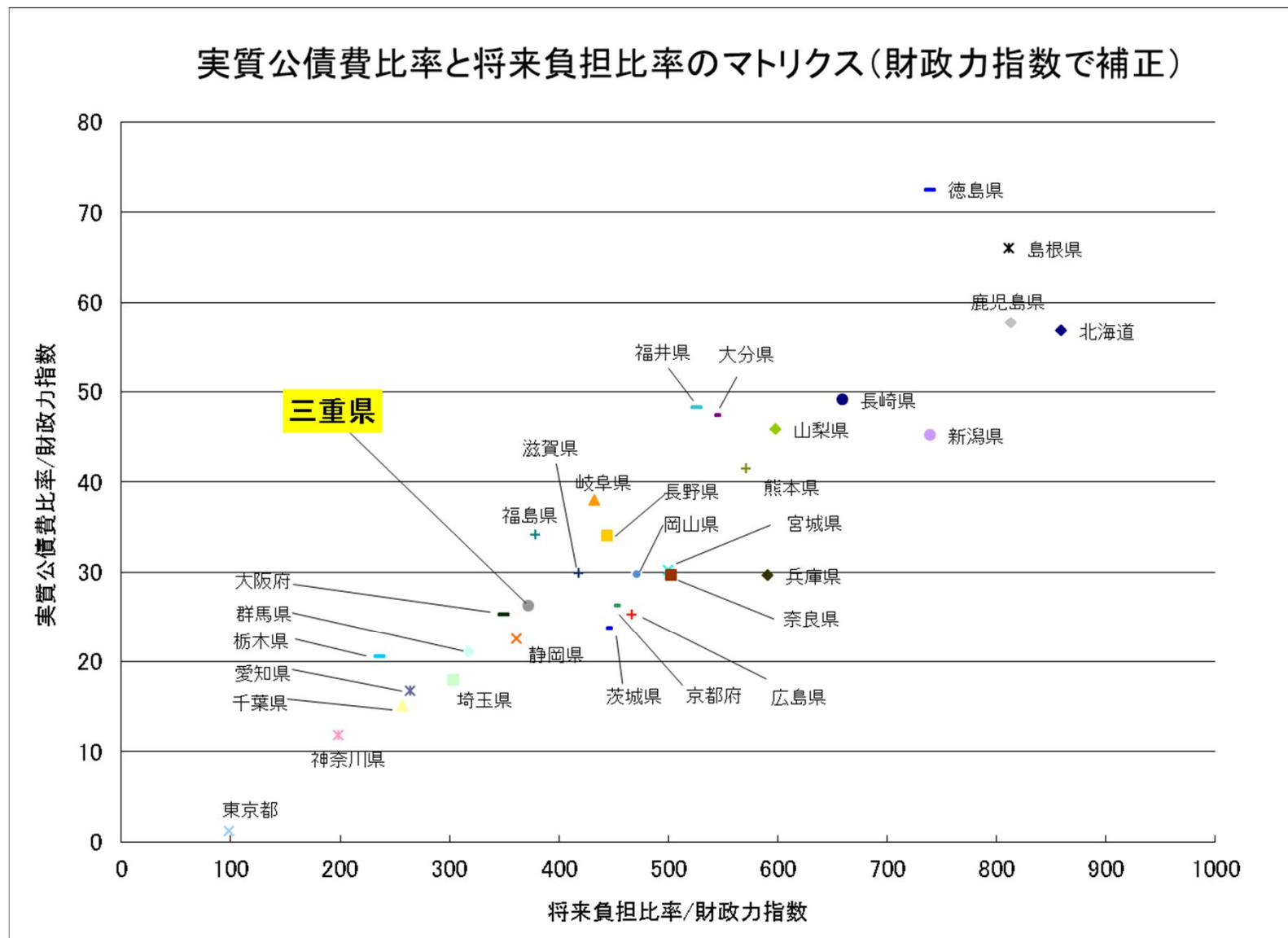
- ・地方交付税の減少等による経常収入の減少や公債費の増加の影響で経常収支比率が増加傾向。
- ・但し、ストックの指標の値は、他団体と比較して小さい状況。

	内 容		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
財政力指数	交付税の算定に用いる収入額を需要額で除した値(数値が大きいほど財政に弾力性がある)		0.49	0.54	0.586	0.618	0.615	0.574	0.546	0.538
		公募団体 順位	12	12	15	14	15	16	15	15
経常収支比率 (単位:%)	経常経費に充当した一般財源の額を経常的に収入される一般財源の額で除したもの(数値が小さいほど財政に弾力性がある)		91.4	94.6	98.6	94.8	94.1	91.0	97.1	94.9
		公募団体 順位	10	22	20	11	9	14	29	20
実質公債費比率 (単位:%)	公債費及び公債費に準ずる経費(公債費に相当する債務負担行為に係る支出)に充当した一般財源を一般財源で除したもの		12.3	12.5	12.6	12.6	12.7	13.0	13.6	14.1
		公募団体 順位	4	9	13	11	10	9	7	10
実質公債費比率 ／財政力指数	実質公債費比率を財政力指数で補正		25.1	23.1	21.5	20.4	20.7	22.7	24.9	26.2
		公募団体 順位	10	10	10	11	10	11	11	14
将来負担比率 (単位:%)	交付税措置のない負債残高等(地方公共団体全体の会計に加え、地方公社、第三セクターの負債も対象)を一般財源で除したもの		—	—	185.9	190.9	198.5	191.3	197.9	200.0
		公募団体 順位	—	—	3	3	6	7	9	13
将来負担比率 ／財政力指数	将来負担比率を財政力指数で補正		—	—	317.3	308.8	323.0	333.3	362.4	372.0
		公募団体 順位	—	—	6	6	8	8	9	10
資金不足比率 (単位:%)	公営企業会計ごとに、資金不足額が事業規模に占める割合		—	—	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし	不足なし
		公募団体 順位	—	—	—	—	—	—	—	—
地方債残高／ 標準財政規模	標準財政規模(一般財源のこと)に占める地方債の残高		2.6	2.52	2.56	2.52	2.80	2.91	3.00	3.13
		公募団体 順位	3	4	4	6	7	7	7	7

※公募団体順位は平成24年度時点の公募団体(32都道府県)を対象とし、数値の良い方からの順位。

実質公債費比率と将来負担比率 (財政力指数補正)

- ・実質公債費比率と将来負担比率が低く、財政力指数が高い団体が財政が健全な団体。
- ・両比率をマトリクスにし、かつ財政力指数で補正することで、財政のバランスを評価。



※対象は、平成24年度時点の公募団体(32都道府県)。